

平成 21 年 11 月 6 日

各 位

会 社 名 寺 崎 電 気 産 業 株 式 会 社
 代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 藤 田 正 一
 (コード番号:6637)
 問 合 せ 先 経 営 企 画 室 室 長 西 田 昌 央
 (TEL. 06-6692-1131)

業績予想の修正、繰延税金資産取崩し並びに配当予想の修正に関するお知らせ

平成 21 年 5 月 15 日の決算発表時に公表いたしました平成 22 年 3 月 期 第 2 四 半 期 累 計 期 間 (平成 21 年 4 月 1 日～平成 21 年 9 月 30 日) 及び通期 (平成 21 年 4 月 1 日～平成 22 年 3 月 31 日) の業績予想を以下のとおり修正いたします。また、併せて個別業績予想の修正に伴う繰延税金資産の取崩しを行うこと並びに配当予想の修正について、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 平成 22 年 3 月 期 第 2 四 半 期 累 計 期 間 (平成 21 年 4 月 1 日～平成 21 年 9 月 30 日) 業績予想の修正

(1) 連結の業績予想

(単位: 百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想(A)	14,190	150	100	50	3円 84 銭
今回修正予想(B)	14,600	320	310	△120	△9円 21 銭
増減額(B-A)	410	170	210	△170	—
増減率(%)	2.9	113.3	210.0	—	—
(ご参考) 前期第2四半期実績 (平成 21 年 3 月 期 第 2 四 半 期)	20,834	1,419	1,425	1,025	78 円 69 銭

(2) 個別の業績予想

(単位: 百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想(A)	9,070	△560	△270	△270	△20 円 72 銭
今回修正予想(B)	8,670	△780	△340	△500	△38 円 37 銭
増減額(B-A)	△400	△220	△70	△230	—
増減率(%)	△4.4	—	—	—	—

2. 平成 22 年3月期通期(平成 21 年4月1日～平成 22 年3月 31日)業績予想の修正

(1) 連結の業績予想

(単位:百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想(A)	32,100	1,690	1,580	970	74 円 45 銭
今回修正予想(B)	30,730	1,500	1,450	560	42 円 98 銭
増減額(B-A)	△1,370	△190	△130	△410	—
増減率(%)	△4.3	△11.2	△8.2	△42.3	—
(ご参考) 前期実績 (平成 21 年3月期)	38,544	2,289	2,031	1,294	99 円 37 銭

(2) 個別の業績予想

(単位:百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想(A)	21,740	60	350	200	15 円 35 銭
今回修正予想(B)	19,850	△390	50	△290	△22 円 26 銭
増減額(B-A)	△1,890	△450	△300	△490	—
増減率(%)	△8.7	—	△85.7	—	—
(ご参考) 前期実績 (平成 21 年3月期)	26,647	299	389	267	20 円 54 銭

3. 修正の理由

(1) 第2四半期累計期間(連結・個別)の業績予想の修正理由

連結業績については、システム事業の売上は船舶用関係(船舶用配電制御システム等)は造船市場にて若干納期繰延要求等が発生したものの豊富な受注残を背景に概ね堅調でした。産業用関係(配電制御システム・電子応用製品等)はプラント物件が低調であるものの医療用機器関連等は好調に推移しました。一方、機器事業(低圧遮断器等)の売上は国内市場での低迷は続いていますが、海外市場においては大口物件等の受注もあり堅調でありました。その結果、連結売上高は計画より3%程度伸ばすことができました。営業利益・経常利益につきましては当初予想を上回ることができました。しかし当期純利益につきましては、個別決算において行った繰延税金資産の一部取崩しが大きく影響した結果、前回発表予想では 50 百万円の黒字としておりましたが、△120 百万円となる見込みであります。

なお、個別業績につきましては、国内外における民間設備投資の抑制傾向が想定以上に長期化し、当社製品の販売環境に厳しい状況となりました。特に機器事業(低圧遮断器等)の国内における売上の減少が大きく影響し、売上高、利益とも当初予想を大幅に下回る見込みであります。

(2) 通期(連結・個別)の業績予想の修正理由

当社グループを取り巻く下期の国内・海外の市場動向は、民間設備投資等も依然低迷状態が続き、システム事業産業用でのプラント物件及び機器事業製品全般における売上高の減少が予想されます。また、銅材料等の原材料価格上昇懸念及び信用収縮に伴う景気後退の長期化等により、厳しさが継続するものと予想しております。結果、上期の業績見通しを踏まえ、通期の業績予想を修正するものであります。

4. 繰延税金資産の取崩しについて

個別業績予想の修正に伴い、繰延税金資産の回収可能性につきまして慎重に検討しました結果、平成 22 年3月期第2四半期累計期間におきまして、繰延税金資産の一部取崩しを行うことにいたしました。この結果、当第2四半期累計期間では 352 百万円(通期では 393 百万円)を法人税等調整額への計上を見込んでおります。

5. 配当予想の修正

基 準 日	1株当たり配当金		
	第2四半期末	期 末	年 間
前 回 予 想 (平成 21 年5月 15 日発表)	—	10 円 00 銭	10 円 00 銭
今 回 修 正 予 想	—	7 円 00 銭	7 円 00 銭
前 期 実 績 (平成 21 年3月期)	—	10 円 00 銭	10 円 00 銭

6. 配当予想修正の理由

当社グループは、財務体質の強化及び事業拡大に必要な内部留保の充実を勘案し、安定した配当を実施することを配当政策の基本方針としております。

しかしながら、経営環境の先行きが不透明であり、予想以上に下期の業績予想が厳しいことより、誠に遺憾ではございますが、年間配当金を前回予想から3円減配の1株当たり7円に修正させていただきます。

当社グループといたしましては、今後とも企業価値の向上及び収益体質の強化に向け、更なる努力を重ねてまいり所存でございますので、引き続きご支援賜りますようお願い申し上げます。

ご注意 : 上記に記載いたしました予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した結果であり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、上記予想数値と異なる場合があります。

以上